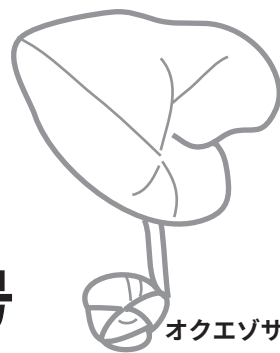


タンネウシ

1

月号



オクエゾサイシン

第26回 知床博物館特別展

『活火山 羅臼岳』 ～2/27(日)まで 開催中！



＊博物館1Fホールにて
開催しています

近年の調査により、過去約2,000年の間に800年周期で3回噴火している羅臼岳が活火山に認定されました。今年の特別展は羅臼岳の登山道沿いの火山地質、地形について写真を中心に紹介しています。立体地形図や、火砕流・溶岩分布図、噴火史、湧出硫黄の解説、火山岩や火山灰・羅臼岳や国内外の溶岩の実物展示、溶岩の顕微鏡観察などで詳しく羅臼岳の活動と火山について紹介・解説しています。

◆特別展関連講座◆

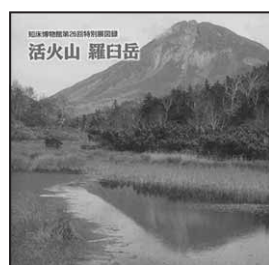
～特別講演会～「活火山・羅臼岳の噴火史と 山体形成」

2月12日(土) 19:00～

講師：後藤芳彦助教授
(室蘭工業大学環境防災工学講座)

会場 博物館2F映像展示室
参加無料、事前にお申込ください

※講演会の詳しい内容は、次号タンネウシでお知らせいたします。申込み受付は1月6日からです。



特別展図録「活火山 羅臼岳」は博物館窓口にて販売しています。お買い求め下さい。
定価300円

＊＊2月の講座＊＊

26日(土) 天体講座
「木星・土星と冬の星座観察会」
19:00～

27日(日)「羅臼岳の石を磨いて
ペーパーウェイトを作ろう」
10:00～、13:00～、
15:00～

＊申込み受付は1月6日からです。
詳しくは「おじろ通信」をご覧ください。



野外観察園で保護している鹿が 亡くなりました

12月22日、3本足の雄鹿が亡くなりました。氷の上で転んで起きあがれなくなり、怪我をした箇所からの出血多量が原因だと思われます。博物館に保護されてから約6～7年、かわいがってくださった皆さんありがとうございました。